

一筆啓上

作左通信



第二一九号 令和六年十二月十五日（日）発行

「第二十一回ふるさと賞」表彰式を開催

去る十二月八日（日）、六ツ美西部学区こどもの家に於いて、一筆啓上・作左の会主催「第二十一回ふるさと賞」表彰式を開催しました。

本年度は、一般、児童生徒の皆さんから、俳句一五九〇句、短歌一〇八一首と大変多くの応募がありました。これらの応募作品の中から、最優秀賞として俳句十一句、短歌十一首を選出し、受賞者をお招きして表彰させていただきました。また、児童生徒の優秀受賞者の皆さんは、それぞれの小中学校で表彰していただくこととしました。

当日は師走らしい寒い一日でしたが、御来賓の方々、受賞者ご家族の皆様方にも多数ご出席をいただき、暖かくお祝いすることができました。

表彰に続いて、選者の岡崎市民俳句会代表幹事 中根由起子様、あかとき短歌会代表 石原比朗志様には、受賞作品の講評と作品づくりの際は、その場の説明ではなく、その場面や情景が心に浮かぶように詠むと良い作品になるとのアドバイスをいただきました。今回の表彰式が恙なく開催できましたのも、選者の皆様はもとより、学区総代会、各々ご

句会の方々をはじめ、携わっていただきました全ての皆様方のおかげです。心から感謝申し上げます。



〈喜びの最優秀賞受賞者の皆さん〉

なお、会員の皆様には別途、「第二十一回ふるさと賞 俳句・短歌入選作品集 ふるさと六ツ美を詠む」の冊子をお届けいたしますので、ご高覧ください。

◎入賞作品の作品展を次のとおり開催しています。是非お出かけください。

場所・期間

■岡崎地域交流センター

六ツ美分館「悠紀の里」
十二月十一日～二十四日

■六ツ美西部学区市民ホーム
十二月二十五日～一月八日

◎最優秀賞作品を、裏面に掲載してありますのでご覧ください。尚、全ての入選作品については一筆啓上・作左の会のホームページに掲載しております。左のQRコードからご覧ください。



第21回ふるさと賞
へのリンク

第21回 ふるさと賞 最優秀賞作品



◆俳句の部（11句）

【一般の部】

岡崎市長賞	早乙女や顔に跳ねたる泥拭ふ	半田市横川町	松岡 裕子
岡崎市教育委員会賞	足もて足洗ふ早乙女藍脚絆	岡崎市大西町	竹川ふじ江

【小中学校の部】

岡崎市長賞	ビー玉をとらせてくれぬラムネびん	六ツ美西部小5年	小森未来翔
岡崎市議会議長賞	自転車を入道雲がおいかける	六ツ美中3年	小酒井玲衣
岡崎市教育委員会賞	スイスイと自転車とばす青田道	六ツ美北部小5年	杉山 聡祐
岡崎市観光協会賞	参加して伝統継いだ田植えうた	六ツ美南部小6年	兼原柊太郎
岡崎市六ツ美商工会賞	桜咲く校舎の前でとる写真	六ツ美北中1年	桑原 咲月
中日新聞社賞	初盆に帰ってくるよおじいちゃん	六ツ美西部小6年	神谷 侑利
ミクスネットワーク賞	のきしたの下見しているツバメたち	六ツ美中部小6年	黒田 芭那
東海愛知新聞社賞	親友と浴衣で歩く夜の町	六ツ美北中3年	静 琴音
学区総代会賞	森の中心やすらぐ滝の音	六ツ美中2年	村松 支葵

◆短歌の部（11首）

【一般の部】

岡崎市議会議長賞	悠紀の地に二代続きし和菓子屋の 齋田もなか母の手に置く	岡崎市中島町	黒野美由紀
岡崎市観光協会賞	つれ合いの背中洗いし指先は 土と同じく黒くひかりて	岡崎市法性寺町	近藤 和子

【小中学校の部】

岡崎市長賞	床揺れて体起こして窓見たら 夕日と光るドクターイエロー	六ツ美中3年	犬塚 麻央
岡崎市議会議長賞	雨傘を日傘に変えた二の腕の 光まみれの夏のはじまり	六ツ美西部小6年	長瀬 咲愛
岡崎市教育委員会賞	つかれはて日差しかきわけ進んでく ぼくの背泳ぎボロ船のよう	六ツ美北中1年	市川 湊
岡崎市観光協会賞	なの花の花言葉から救われて 毎日笑顔いつもしあわせ	六ツ美中部小6年	坂部 春菜
岡崎市六ツ美商工会賞	夕焼けを一面うつす水たまり 空を飛んだとわらいあう声	六ツ美北中1年	前田 恵麻
中日新聞社賞	菜の花が風にあおられゆらゆらと 光の加減一つの波に	六ツ美中2年	鈴木 優奈
ミクスネットワーク賞	水しぶきとびちる友の顔めがけ 追いかけてまくりうつ水てっぽう	六ツ美西部小6年	川澄 結愛
東海愛知新聞社賞	あったかいほんわかとしたおみそ汁 やっぱりおいしい六ツ美のねぎは	六ツ美北部小6年	宮木 寛史
学区社教委員会賞	校庭にひびく校歌よ風にのり 羽角の山にとどけよひびけ	六ツ美南部小6年	安達 貴一